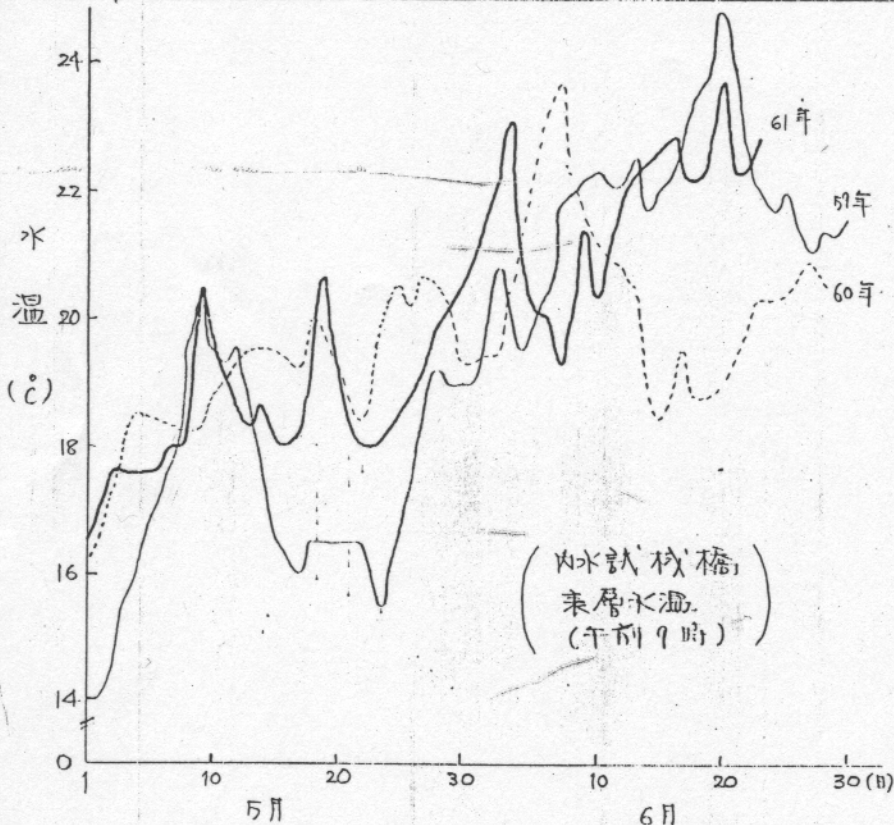


霞ヶ浦も 夏型に

梅雨に入り、季節は次第に夏に近づいていきます。
霞ヶ浦も同様に、徐々に夏型に変化してきています。例えば、秋型春型のプランクトンである珪藻から、夏の代表種である藍藻(アオコなど)に変わってきており、既に、高浜入りの奥部では、かなりのアオコが発生し

ています。
北浦では、六月の中頃に、急に水が澄んで透明になりましたが、これも、夏型のプランクトン



に変化する前兆と考えていきます。
霞ヶ浦が、夏型に移行しているという、もう一つの現象は、底層

水に、酸欠水が出現し始めたというのとです。
この酸欠水の層は、まだ極く薄く、心配する程のものではありませんが、

これは、直ぐに、底層水の酸素は、少なくなると思います。上図は、ここ三カ年の五、六月の霞ヶ浦の水温変化をみたものです。これによると、今年(過)去年に比較すると、順調に推移したといえるようです。

お知らせ

内水試では、酸欠観測の体制に入りました。今年も各細いけす漁場で、酸素メーターによる酸素量の測定を、漁業者の方にお願いしています。ご利用下さい。

